

令和7年度第1回城東区区政会議（まちづくり部会）

日時：令和7年6月9日
19時30分～20時30分

○安川部会長

それではまちづくり部会を始めさせていただきます。まちづくり部会の部会長を務めさせていただきます安川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

吉川委員の退任に伴いまして、本日の会議より長岡委員さんが新たに就任されております。どうぞよろしくお願いいたします。

早速、部会の議論に入らせていただきます。

先ほど、本会で説明のあった令和6年度城東区運営方針の自己評価に関して、委員の皆様のご意見をいただきたく存じます。

まちづくり部会としては、経営課題1「人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ」・経営課題2「地域で支えあう安全で安心なまちへ」・経営課題5「区民の皆さんに信頼される区役所づくり」と市政改革プランに基づく取組みに関することを中心に、ご意見を伺います。

何かご意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。

○長岡委員

経営課題2のところで、自助、共助はあるが公助がないんですね。それを基本とした災害に強いまちづくりと言っているんですが。災害関連死が増えていると報道されているんです。

そこでやっぱり公助のとこなんですけど、それに基づいて去年に内閣府で、スフィア基準、という自治体向けの取り組み指針が出されてると思うんですけど。

例えば、避難所でスペースを3.5平方メートル以上にしなさいとか、トイレは20人に1基、女性は男性の3倍ぐらいにしなさいとか、水は1日15リットル、食料も2100キロカロリー摂取。それを48時間体制で作るとするようなガイドラインが出されていて、そういうのに対して例えば備蓄物資とか、防災倉庫とか、避難所の機能強化とか、そういうふうに書いておられるんですけど、基準に基づくガイドラインが出されて、大阪市との関係がどうなのか私もよくわかりませんが、そういう基準を満たすような、城東区として取り組みを行っていただきたいと思います。

○藤原防災・防犯担当課長

ご意見ありがとうございます。

今おっしゃっていただいた中でいうと、トイレに関して20人に1基という形で、それに該当するように、1避難所当たり1000人を想定して、50基必要ということで、簡易トイレに関しては、各避難所の方に設置できるように城東区では備えている状況になります。

ただおっしゃっていただいたように1人当たり3.5平米ですとか、そういったところは、大阪市の基準が今のところは、1人当たり1.5平米で計算しておりますので、今後の課題になってくるのかなというところはあるかとは思いますが。

ですので城東区の方でも、どうしてもスフィア基準とかの基準に、適合していればいいんですけれども、避難所のスペースも小中学校を中心としたところに限られてくるので、どうしても1人当たり3.5平米とかなると、避難できる人数が減ってしまうというところで、できるだけ避難所に関しては、在宅避難をお願いできないかということで、昨年度もマンション防災という形で、防災サミットを開催させていただいて、特に耐震基準があるような集合住宅にお住まいの方については、事前に、例えば冷蔵庫に突っ張り棒を設置して地震があった際に倒れないようにするとか、あとは集合住宅の高層階にお住まいですと、水とかの運搬が大変ですので、事前に携帯トイレを備えていただくとか、水とか食料も事前に、できればローリングストックみたいな形でお願いできないかという形でご案内はさせていただいてるところにはなります。

それでまた政府のガイドラインに従って大阪市の方でも、取り組んでいこうという方向にはなるとは思いますので、その方向を見据えながら城東区でもできる範囲で対応していきたいと思っています。

○長岡委員

在宅避難になっても、マンションの高層階のトイレが詰まりやすいとかで、結局は自助になってくるのかなという印象です。そこら辺の兼ね合いとかもあるんですけど、確かに、現在の小中学校だけでは難しいと思うので、避難場所を増やさないといけないのではないのでしょうか。

自助、共助は必要なんですけども、やっぱり城東区としても努力して欲しいなと思います。

○藤原防災・防犯担当課長

ちなみに今手元にチラシの方ですね、第5回防災サミットを城東スギタクレストホールにて開催いたしましたして、阪神淡路大震災から30年ということで南海トラフ巨大地震を迎えるにあたってというタイトルで開催させていただきました。

大阪公立大学の生田先生とABC朝日放送の木戸さんに、対談形式で30年前に起こった阪神淡路大震災から、将来起こるであろう巨大地震に向けて備えるという形でご講演いただきまして、ABC朝日放送にて保管されていた阪神淡路大震災の映像をアーカイブでホームページへ公開して、テーマごとにまとめる形で地図上にもですね、その場所がどこで起こったかとかですね、Googleとも連携して、今そこがどういうふうな状況になってるかとかいうのも探し出せるような形で、アーカイブ化されておりまして、講演会でもこのアーカイブを使いながら講演いただいたんですけれども、トイレの問題ですとか水の問題ですとか、そういったテーマで話していただきますと、見ていただいた方も、感嘆していただきまして。こちらのチラシの方も、来られた方一人1枚ずつお渡ししましたら、地域の人にもっと配りたいんでもうちょっとくださいみたいな形で、言っていただきましたんで、今日お集まりの方にもまたご参考いただけたらなと思ひまして、コピーになりますけども、配らせていただきました。裏面にあるようにeラーニングの形で、テーマごとにこのアーカイブの中でも、学べるような仕組みにもなっていますので、また地域とかで防災訓練する際には、子どもさん

とかにも見ていただいて、30年前はこうだったんだなっていうように、感じていただくのもいいのかなと思いますので、ぜひご活用いただけたらと思います。

○安川部会長

では他の方向かご意見ございませんでしょうか。

○高平委員

区ではなく、市の話になるんですけども、大阪市消防団、なんでないんですか。テレビなんか見ると背中にね、東京消防、神戸市消防。全部消防団があるんです。政令都市、東京を含めて全部の中でないのが大阪市だけだと。

これはね、私ははっきり知っています。昭和23年に消防法出たときに、まず全国に組織として、消防本部つくりなさい、民間として消防団を作りなさいっていうのが一斉に言われたんです。ただ大阪市だけはいろいろ事情があって、横になりました。それからずーっと今までないんです。

ということは何か大きな災害があったときは、誰がするよと言いますとね。

公助は無理。自助も無理。だったら共助に行かなあかんときに、多分ね、防災リーダーがいてますよって話なんですけども、各町会で防災リーダーの方みたら、女性の方の場合もあるんでね。

防災リーダーで集まってあそこの家行ってきてって言われても、私の力ではってなるんで、やっぱある程度そのことわかって、女性も男性も入れながらするか、もしくは消防団を作るか。できない理由も知ってます、ここで言いませんけども。ただそういうことでね、大阪市の方に行くときにもしありましたらね、こんな意見、城東区の方で意見あったけども、難しいかな。難しい理由はいろいろあります。今更つくれません。場所、人間、いろいろありますんで。防災リーダーがありますけれども、女性の方もあって、もちろん避難所の運営においては必要なんですけれども。でも、何かのときに、あそこ倒れかかっているから行ってってなったときに、女性だけでは限界がある場合がありますので、やっぱり男の力もいるので、消防団に代わるような組織というのを作って欲しいなとはずっと思ってるんですけども。私が勤務してたところでは消防団あります。訓練もよくしています。

なんかあったらやってとか言えますけども、ここでそれすると、私リーダーだけど何するのっていうふうになりますので、識者みたいな方がいませんでね、だんだんだんだんして欲しいなと思うんですよ。

私の方も仕事の関係でね、阪神も行きまして、東北も行きましたけどやっぱりみんな必死なんです。隣って誰住んでたん。わからなかったら、開けて見に行かないと仕方ないんだから、あとからここにいてはった、死んでるわけじゃなくて、やっぱり、お互いに仲がよかったらそれもあるし、消防団作れとは言いませんけども、さっき言いましたね、自助共助、やっぱり、お隣同士がちょっとぐらいね、誰がおるかぐらい知ってもらった方がありがたいな、これは法律論じゃありませんので。その延長じゃありませんけども、消防団みたいなもんがつくれたらなと思ってますので、そういう意見を言うやつがおったということだけ、すいません。これは決定事項じゃないです。うちの区でこんなこと言う人おったわぐらいで結構ですから。ただ答えは無理だと思いますんで。一応言ってたっていう

ことだけお願いします。以上です。

○藤原防災・防犯担当課長

ご意見ありがとうございます。

なかなかハードルは高いとは思いますが。

○高平委員

めちゃくちゃ高いです。はっきり言って今更ですね。当時の民間と、公務員の方との軋轢があつてね。

田んぼだらけの土地に、各々が自身の所有権を主張する中、公務員の方が、この場所は公の場所だと決めて、そこに消防団の詰所がつくれたんです。でも大阪は土地がなかったんで、唯一できたのが公園なんですよ。今この辺でどうか作ろうかっていったら蒲生公園しかないんです。消防団って簡単に言いますが、2階建ての家ぐらいの場所があるんですよ。それが最初的时候可以できなかったのがちょっとネックになって今更つくれないんですよ。ただ何かいい方法ないかなということ。城東区でちょっと1人、こんなこと言うやつあったよということはいえることがあったら、別に議題として提案せいとは言いませんので、休憩時間でもこんなこと言うとしたわということだけちょっと言って欲しいなと思っています。

○安川部会長

他にどなたかご意見等あれば。

○鈴木委員

AEDで24時間使える場所って、ご存じですか。

駅とかにあるじゃないですか。今集会所とかに置いてるんですけど、鍵がかかっているじゃないですか。夜とか空いてないときに、駅とか閉まってるときにAEDがいるってなったときに、どこに取りに行けばいいのかなと。

訓練のときに、倒れている人に声かけて、近くにいてる人に対して、119してくださいとか、AED取りに行ってくださいとか指示するじゃないですか。

そのときに、昼間だと多分近くの駅があれば駅とか。昼間でもなかなかわからない中で、夜だと極端な話、窓割って、ドア割って、していいのかわからないですけど。マンションにもあるんですけど、オートロックのマンションなんで入れないじゃないですか。

そういう場合に、一番いいのはコンビニなのかなって思うんですけど。24時間営業していて数が多いですから。ただ、そこに入れてもらうってなると、費用的な問題とか維持管理の問題が出てくるじゃないですか。

コンビニのオーナーに置いてくれて言ってもなかなか難しいかもわからない中でそこに対して行政による補助金を。大阪市ではAED置くことに対する補助金とか、まだないんですしたら今後そういうのをお願いしたら、考えてもらえる余地があるのか。

AEDの使用においては、1分、2分でも生存率がすごい変わってくる。その時に24時間使えるAEDがあれば、またその場所がすぐわかればという話しして、

また区政会議が今度あるんで1回ちょっと話してみますと。区として24時間使えるようなところは把握していますか。

○藤原防災・防犯担当課長

AEDをどこに置いているかっていうのが、AEDの協会みたいなのところがあって、ホームページに公開しているんですけども。ただそれも申請をしないと表記されないの。

○鈴木委員

どこかのサイトは見ついたら見つけた人がアップできるみたいなものもあるんですね。AEDがあるって、見つけた人がそのサイトにアップしたらそこに、出てくるみたいなものもあるみたいなんです。ただ見てたらね、24時間使えるようなところはないんですよ。やっぱり建物内とかは多分何か盗まれたりされるかなっていうので、なかなか。

○藤原防災・防犯担当課長

区役所も1階にありますけども、当直さんがいらっしゃるんで24時間使えます。

○安川部会長

コンビニは置いてあるところ多いですね。

うち董地域なんですけど、この間防災マップを作りまして、その防災マップの中に、AEDがどこにあるかとかを地図上に入れて、それでいったらうちの近辺にあるコンビニはすべてAEDありました。

それは地域においてくださいという依頼をしたわけでもないと思うんですけど、大概、そうであると。あとガソリンスタンドにもありますし。今おっしゃるように集会所とかね、学校とかは閉まってしまうので、夜間使えるとしたらコンビニぐらいかな。

○鈴木委員

見つけても、集会所とか、マンションとかは出てくるんですけど。

あるのかもわからないですけどAEDのサイトに出てこないんで。

もしかしたらほとんどのコンビニが調べたら置いてるのかもしれませんが。

○矢野委員

置いてないと思いますよ

ローソンとかは一時、置こうとしたんですけど、そもそもコンビニって、3年4年でスクラップアンドビルドで切り換えていくことが多いので置いていてもなくなるんですよ。だからそういうところから考えると、なかなか24時間で使えるところっていうのは厳しいと思います。

そもそも、AED持ってきてくださいって言うじゃないですか。

あれやったとしても、取りに行ってる間に5分以上経つんですよ。結局そういうところが課題だと思います。だから、数の問題も出てくるし、ってなってきたら、

やっぱり救命救急普及員もやっぱりそれを増やしていくほうが、AED に頼るよりはいいと思います。

○鈴木委員

コンビニがそういう状況であるのであれば、置くのはなかなか難しい状況なんです。

○高平委員

1つの方法なんですけども、うちの町会でもそういう話も出たことあるんです。家の中に閉じ込められた人、どうするの。いるのはわかってんのにということで、町会でね、斧を買ったんですよ。小さめのやつでね、3000 円ぐらいのものなんですけど。

それでバーンとしてドアをつぶしたら開けれるし、ガラスだったら中に入れりし、そういうのを 1 回ね、準備しようかということで 1 つだけ、買って、自分ところの町会の倉庫に置いてるんですよ。AED が施錠されたところにあっても、ガラスを割っていいと思いますよ。そうしないと、先ほど言われた時間の問題なんです。

よく、テレビとか講習会でも、あなた 119 番、あなた AED って言われてもね、「え俺？」ってなりますのでね、そういう時は場所を知っている人が行けばいいし。病院とかも、扉をたたけば出てきてくれる場合もあるし。一番怖いのはね、AED ってね、あれ高いんです。やっぱり大事に、構えてしまうよね。

これ取られたら大変やと。音鳴るんですよ。開けたらブザーがビーってね。ただ買ったら何十万するんでね。自分とこで買って置いてねっていわれたら、いやちょっとなあとするのはすごくわかります。

○矢野委員

これは両方、どっちかだけに、片足に軸を置いても仕方がないと思うんで、これやっぱり課題として、やっぱり取り組んで欲しいことですよね。

人だけで、救命救急を取ったとしても、実際できないことが多いですし、本当に最後、心臓がおかしくなってしまう状態だとするならば、本当に AED が必要だと思うんですよ。やっぱり身近なところに、あるっていうのは大事だと思います。災害が起こったら絶対必要だと思います。

○高平委員

ふつう困りますもんね。AED とってきてと言われても、どこにあんのと。パニックになりますよね。慌てたときってね、119 番もね、119 番って何番やねんって。こういうレベルだと思います、ふつう。落ちつけいわれても無理です、日常でないことなんでね。

一つだけ面白い話があるのは、AED 使うとき、女性の場合ですね。何するか知っていますか。女性が壁を作るんです。これはねなかなかすぐにはできない。大勢の人が集まってくる中で、AED を使わないとあかんとなると、衣服をはだけさせる必要があります。その時に女性の場合は、後から私は何十人の前で裸になったんかとなりますんで、まず、わかってる人は、とりあえず女性で全部壁作

って、皆向こう向いてと。中ではなくて向こう見て、変な話、いろんな人がのぞいてくるのを遮るような形で、2、3人はこっち向いて、私が変なことしないように私がすることを見てくださいと。壁も人の壁が難しければ毛布とか、タオルケットとかこうやって。後で、その人が大丈夫になったときに、私が30人の前で裸にされたん。いや、助かったからええやんと言うても、いやですよそういうの。

私も直接あったのは、京阪プラットフォームでいきなり人が倒れた。そのときはてんかんみたいなものだったので、すぐ立っていったからいいけども、あれはほんまそのままやったら大変やなというのがね。

プラットフォームから線路に足がはみ出ているので、電車が来たら、両方切断ですよ。それは倒れたらスッと言って助けてあげる。僕よく言うのはね、一歩目が大事やでと。一歩目が出るか出んかによって違う。よく心臓マッサージをしますよね。これで肋骨折れというんです。一番いいのは肋骨の奥の心臓を鷲掴みが一番いいんです。でも、肋骨折れたらどうするの、過去の事例で肋骨を折ったからって、賠償金、責任ありません。必ずこれに関しては。ですので、遠慮せずに腕を延ばしてしないと奥までいかないんです。

そういうのもありますんで、気をつけながら訓練あれば、積極的にして欲しいなと思います。

○矢野委員

中浜では救命救急講習を独自でやってます。2人取りに行ってくれたんで、年に1回ずつ必ずやっていこうということで今度6月29日にやります。それぞれ自由に参加してといっても参加できないので、まずは指名して来てもらっています。

○若林委員

私も防災リーダーをさせていただいてますが、小学校でやる訓練とか参加したときにはいつも同じ方ばかりになってしまっていて、本当に一般の方々とか知らない方に来てもらうっていうのがどれだけ大変かということですね。

○鈴木委員

防災訓練やるって言ってもこないと思います。思い切って全部に声かけるとしたら、またそれはそれで大変かなというのもあるってなんか、いつもだから各町会10人ぐらいでやっています。

○矢野委員

人数制限も結構あるんでしょう。厳しいんで、たくさん来ていただいてもちょっと対応しきれなかったり。

○高平委員

ちょっと今話の中で。心臓マッサージ30回するとき、どうするか知っていますか。自分で数を数えながらしていますか。

○鈴木委員

私はスマホにメトロノーム入れています。

○高平委員

もしもし亀よ、と歌いながらするのが一番いいんです。自分の中で数えながらやっても、急になんかしゃべりかけられたら何回やったかわからなくなりますけど、もしもし亀よ亀さんよ、これを歌いきったら次呼気やって。1曲で30回ぐらいになりますんでね。それ広げていったほうがいいなと思ってますんで。

○荒木委員

防災訓練は、中学校と小学校で毎年やってるんですけど、避難所は、どなたが開けてくれるんですか。何分で開けていただけるんですか。こなかったら、塀を乗り越えていいんですかとか、そういうのが、出てました。防災訓練はやってるんですけどその初歩的なところですね。一人暮らしの方もすごく増えているので、そこまでいけるのかなとか。そんな話。

6月14日は小学生と、各町会の防災リーダーさんと、教室で防災訓練するんですけど、それ以前の問題を話し合っていました。誰が開けてくれるのか、城陽中学やったら校庭までは入れるとか。

○矢野委員

中浜は全部ルール作ってます。今、ルール委員会があってそういうルール作っています。防災検討委員会を月1回開いて、全部やってるんですけど、まず、それぞれ地域の安否確認をしないと、もう入れないですよっていうルールを周知徹底するところ。やっぱりつくれないですよ。そもそも学校つぶれてしまうことも多々あると思うんで。まずは入れるかどうかの確認は誰がするかっていうのも、今ルール作りしてて今も会議やってます。

○荒木委員

意外と誰が鍵持ってるのか知らなかった。

○若林委員

鍵を持ってても、その方がその時間にいるとは限らないとかね。夕方の家にいらっしゃるときだったら、町会長とかっていうんですけど。その方がいらっしゃらなかった場合に、第2第3とか、やり方というのが。

○矢野委員

集会所のキーボックスへ入れておくと、番号を知っている人であれば開けられますね。

○藤原防災・防犯担当課長

地域の方に、2セットとか3セットの鍵をお渡しして、地域の役員の方はどこに誰が持ってるかご存じかと思いますので。鍵開けて、開設しても一度に大勢が来られると大変なことになるんで、地域で話し合って、一時避難場所みたいなも

のを決めて、そこで一定状況見ながら、避難所へ行くっていうのが一番混乱がないのかなと思うんですけども、どうしても避難所行ったらいいんじゃないかって思ってしまう、災害のときはパニックにどうしてもなるから、先ほど言ったように、その集合住宅とかでしたら、ちゃんと転倒防止とかしていれば、家の方が安全かもしれないんですけども、何か避難所へ行かないといけないみたいな感じになってしまうと、逆に人が押し寄せて、大変なことになるということもあると思うので、どうするのがご自身にとっていいかっていうのを日ごろから考えといていただいたらいいんじゃないかなあと思います。

○若林委員

鳴野の1－1町会で城東小学校よりも、城陽中学校が近くて、城陽中学校に行きたいなという話が出てるところで、そちらの避難訓練に参加することは可能ですか。

○荒木委員

可能です。

小学校でしたり、中学校の生徒さんとしたり、毎年やっています。

今度14日は小学校です。

○藤原防災・防犯担当課長

鳴野地域さんは小学校、中学校でそれぞれ訓練されていて、中学校は4つの地域からきてるんで、避難所を開設したときに、どういった形で運営していったらいいかというのがありますので、今度会議を地域の方とさせてもらおうかなあと思っています。

○若林委員

防災ではないんですけども。城東区は自転車が多くて、この前車に乗っていた時に、青になっていこうというときに、2車線ある内側の車線にいるのに、自転車が斜めに来て、赤なのに前にきて、青で行こうという瞬間なので本当に怖かったというのがあって、自転車のマナーが悪いというのと、この頃、電動キックボードが歩道走ったりとか、それがすごくあって怖いなって思いをしていて、そういう取り締まりとか、この11日に城東地域では、自転車のマナー講習会をさせていただくんですけども、そういうのが若い方とか、来られない年代ぐらい、20代後半から、30代の方とかが多かったりとかするのに対して、何かいい方法ないでしょうか。

○藤原防災・防犯担当課長

昨年度11月に道路交通法が改正されて、酒気帯び運転とか、あとスマホながら運転とか罰則強化がされてるんですけども、来年4月に道路交通法で青色切符の導入っていうのが今のところ予定されてるって聞いているので、それに向けて、警察の方もですね、いろんな対応というか、周知とかはされると思うんですけども、そもそも、自転車乗ってる方って、車を運転される方でしたら、車から見たらこうしてるとか、危なさとかいうのはあるんですけど、自転車は特に資格が

いらないので道路標識とかもあまり認識せずに、運転されてるんですけども、罰則強化されるっていうところで。

○若林委員

城東区新喜多大橋のところ辺は、坂がありますし、信号がたくさんあって、本当危なくて、それまででも事故に遭われて、骨を折られた方いらっしゃったんですけど、いってしまったので、誰に責任を問うこともできないっていうのはあったりするんで、それがこのところ、やはり結構ひどくなってきたのかなと思いますんで。警察にも言わなきゃいけないことかもしれないんですけど、区としてもそういうマナー的なものとか、啓発的なものっていうのは今後も続けていたきたいなと思います。

○高平委員

今のはね、大阪ルールがあるんです。

そういう悪い癖を、子どものときに親がやっているのを見ていたりして、それをマネするんです。大阪ルールだからよそでは通用しないです。というのがあるんで、これはなかなかね、どこで直すいうたら難しいですね。学校でもそれด้วยえへんしね。難しいかと思います。

特に学校で言うと、城東区ね、一方通行多いじゃないですか。なぜかわかりますか。昔ね、私たちが中学校くらいの時、この辺ね、いまは近場でいうと、蒲生中学校があるんですね。でも、私らのときは、それが董に行かされたんですね、遠いところまで。ほんならね、みんな自転車で行くんですよ、特に榎並の遠いところの子は。関目、成育の子ははそこそこ頑張ってるけど、榎並の子はもう自転車乗っていくから。信号守りませんから、事故がしょっちゅうありました。そこで学校と警察が話し合って、大阪市のあの辺は一方通行が多くなったと。都市伝説かもしれませんが。

そういうのを聞きましたんで、なるほどなど。昔の俺らが悪かったんだなど。だからかなり死亡事故でないけども、事故はしょっちゅうあったそうです。まず信号守らない。榎並というと野江の向こうだから、董中学まで遠いですよ。なので、大阪はそういうマナー的なものはめちゃくちゃ悪いんですよ。

○若林委員

レンタル自転車ですか。あれも多いですよ。最近いたところに、J Rの高架下の網が張っているところの中に、レンタル自転車駐輪場ができて驚いたんですけど、そういう形で、日頃乗らない自転車に乗られるとか、ちょっと乗ろう感覚の自転車が多くなると思うんで余計にその歩行者優先ではなく自転車が横行するのが優先になってしまってくるのかなと思っています。

○高平委員

自転車は特に鳴らしながら走るでしょ。俺が来ているぞ、という感じでね。それが普通になっています。そういうのを見ている子どもが大きくなって、車に乗るようになったら真似するんです。これこそ大阪ルールじゃないけど。

○安川部会長

他にありましたら。

○高平委員

避難所にいったときには、救援物資を送ってくれますけど、城東区の方から持ってきてくれるんですよね。それとも大阪市から直接くるんですか。

○藤原防災・防犯担当課長

具体的にどうなるかっていうのは実際起こってみないとわからないところがあるんで、その災害の範囲とか、具合とかによっても変わってくると思います。

○高平委員

これも以前あったんですけども、市で、そういうものがなくなってしまったんです。出し切ってしまうと。市ではどうしようとなって、大阪府へ連絡したんです。すると大阪府の倉庫がありますので来てくださいと。ただし、車は普通の車で、絶対に誰にも言わず、2人で来てください。場所は途中で言います、携帯で。ということは何丁目何番地のここにありますのでここに来てくださいとは言えないんです。行ってみると大きな倉庫があったんです。そこに毛布とか食べ物とか全部入ってて、それ大阪府のもんです。府の備蓄ですから、知らないけども、そこに泥棒が入ってもうたら、全部持っていかれてしまう。食べ物から毛布から。これ言わないでくださいねということ言われて、そこから持って帰ったことがあるんですけども。そういうのはまだ残ってますか。

○藤原防災・防犯担当課長

大阪府の倉庫は持ってるので、大阪府と大阪市内で、その備蓄は半分ずつ備えていていう形になってるんで、実際、災害が起こったときには連絡して、そういった場所から、備蓄物資を運んできてっていう形にはなるとは思いますけども。

そもそも備蓄物資がその3日分とかですね、それぐらいしかないんで、それも全員分があるわけじゃないので、避難所に行く人のっていうのが基本なので、区民で言うと15%ぐらいの分しかないんで、あとは救援物資、能登でもありましたけど全国からいろいろね、送っていただいていたものになるので、どうしても、輸送もかかるので、やはり不安に思われる方とかは、備蓄を自宅でできる範囲でやっていただくっていうのがいいんじゃないかなと思います。

○高平委員

今ので安心しました。大阪府も大阪市も倉庫があるということで。割と大きな倉庫でね。どこ行ったらいいかわからなかったから電話で連絡しますということやから、住所を言わないんです。名前も何も書いてない。

ただそれ大阪府ももう極論すればね、阪南市からも遠いし高槻からも遠いし、住所を教えてくれたら、いけるんだけども、住所は言わないんでね。そういう大阪府の倉庫は生きてますね。安心しましたすいません。

○矢野委員

要望なんですけど、SNS をそれぞれ 4 地域やっておられるじゃないですか。個別にやるものなので、さほどその協調性ってのは必要はないと思うんですが、せっかく、みんながやってるのであれば、何かその場所でコミュニティーっていうのはできるだろうし、もう 1 つ、広報誌、結構年に 1 回作ったりとかしてやってるじゃないですか。

こんなん作ってはるんやと感じているんですけど、なかなかその情報そういうところが共有できてないところあると思うんで、これは何か区にさせていただきたいなと思います。

○藤原防災・防犯担当課長

広報誌、ふれあい城東の方でも、年に 1 回各地域で取り組まれてる内容の特集みたいのはあるんですけども、そういったものを、各地域でどんな取り組みしてるかみたいな、そういった、コーナーみたいなものを充実していかないといけないなという話をしているので、今おっしゃっていただいたような、ことで、対応できるようであれば。

○矢野委員

1 つ案なんですけど、最後のページのどこかに、これは、インフラというかシステムというか、スマートフォンちゃんと置いてっていう話なんですけど、そういう原稿おけば、それを QR コードで各地域の広報誌を読めますよとかっていうのは、体制はそれぞれが取れないので。

そういう、構築をしてもらえば、区に渡せば見れるよっていう、何かそういったインフラっていうものを作ってもらえるといいなと思います。

○長岡委員

デジタル化に関してなんですけど、私なんか高齢なので町会のお知らせとか、回覧で回ってきて音楽の祭典がありますとか、先着 150 名、事前申し込みです。その時に QR コードしか載っていないんですね、どこに連絡していいか。電話番号の記載はないんです。でもやっぱり高齢の人はね、スマホ持ってない人とか、持っていて使い方も知らない人とかいますし、音楽の祭典ね。一人住まいの高齢者が 4 割くらい占めているいうふうに聞いて、こういうのに出かけていくのはいいいことだと思うんですけど、方法がね。だから当日は、2 時から 2 時半、先着 50 ということだったんですが、1 時間半前にその前に立っとかないといけないのかということになるので、高齢者にも配慮した申し込みを考えてほしいなと。デジタル化も若い人はね、活用ができるかもしれないんですが、それに取り残されてる人もいてるので、そういう人も広報とかでは考慮してほしいです。

○牧課長

音楽の祭日なんですけども、去年まで共催という形で、城東区役所の名前もポスターに入れて、一緒にやらしてもらってたんですね。今年度からですね、すべて、役所が絡んでっていう形ではなくて、やってはるグループの方、共催相手が自分で運営できるような力をつけてきてっていうことも事業として、めざしてまして、音楽の祭日やってる方が独立して自分たちでっていう形になって、自分た

ちの募集なり、そういう運営の方法っていう形で進めてはりまして、その一方で、高齢の方にはっていうご意見も今ちょうどできましたんで、それは区役所が共催っていう、イベントですね、音楽であったりスポーツだったり、役所が共催であれば、こうじゃないですかっていう、人権も、自分たちの担当の中にありますんで、すべての人にやさしいというか参加しやすい形での方向で、意見を言わせてもらって、そういう方向に持っていくんですけど。あんまりないですけど、今年からその音楽の祭日に関しては、自主運営的で区役所が広報協力という、ちょっと後ろに下がった形になったんで、今いただいた意見も音楽の祭日、次年度以降も同じような形であればですね、区政会議でこんな意見もらいましたよという形で相手方へ言っていきたいなと思います。

○安川部会長

とりあえず今の意見の中でまとめさせていただきます。

最初に災害の件で、自助、共助という文言があるけども、その中でですね、課題の2の方ですね。公助いうのがないということで、一応、避難所の開設の、1人当たりが大体3.5平米というのが政府のガイドラインで示されていますが、城東区はどんな状況でしょうかというご質問があったと思います。

それに関しましては、できれば、在宅避難を推奨しておりますので、できる限り、ご自宅の方で過ごしていただきたい、というのがご意見であったかなと思いますが、いかがでしょうか。

次に大阪市に消防団がないというのが、これはどういうことかと。できれば、消防団を設立できればということですね。

続きまして、AEDの設置場所ということで、24時間使える場所がないということと、設置についての補助金は、役所の方としては考えておられるのかどうかということと、AEDの場所がわかるようなアプリがあればいいと、いうふうなご意見があったということですね。

続きまして避難所の鍵の問題。誰が持っているのかわからないということで、一応地域の方には複数の鍵はあるんですけども、一般の方々は、もし何かあったとき、その鍵を持っておられる方がいらっしゃるのかどうかというのが不安だと、いうご意見がありました。

続きまして自転車マナーが何とかならないかということで、マナーの啓発をもっと区役所の方でもしていただきたいということ。

そんなところでいかがでしょうか。何か抜けてるところがありましたら。大丈夫でしょうか。

とりあえず、まちづくり部会はこれで終わりたいと思います。